

高校教育フォーラム2016（2016/8/7）

～高校現場からの報告～



西大和学園 宮北 純宏・柳生高志

# 進学実績

## 東大・京大合格者数(2013)

ytv  
サンデー毎日  
2013年3月31日号より



1位 開成 (東京) 176人

2位 灘 (兵庫) 146人

3位 西大和学園 (奈良) 111人

4位 筑波大駒場 (東京) 106人

5位 洛南 (京都) 105人

※現役・浪人を合算

将来の夢を、大学名で答えない。

～社会に貢献できる”人財”を育むために～

「自己実現ではなく、社会で何を担うべきかを考える」

# 学力をつけるために心がけたこと

③知識・技能

見える学力

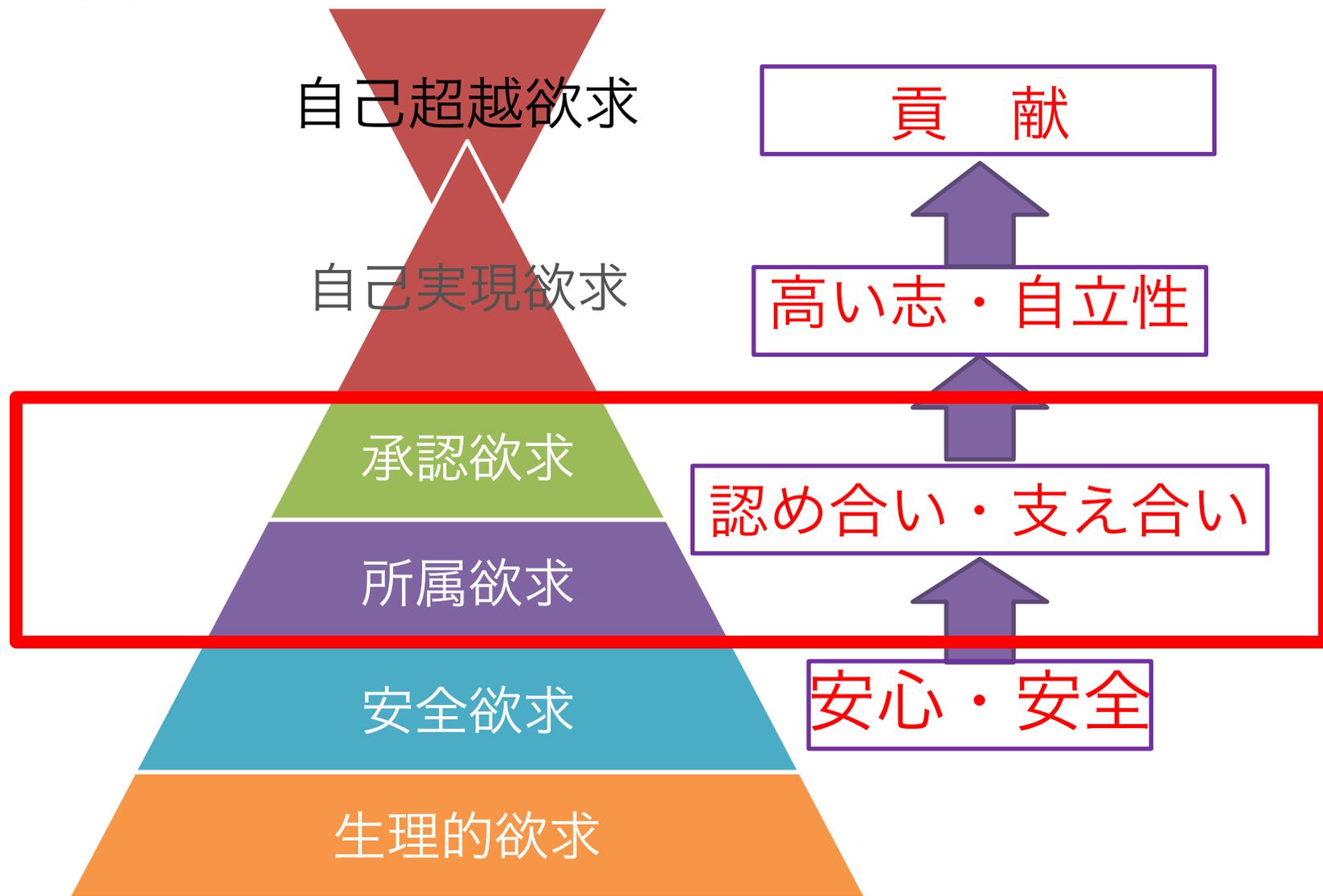
②思考力・判断力・表現力

見えにくい学力

①意欲・関心

ほとんど見えない学力

# 学習意欲を向上させるために必要なこと



「欲求段階説」 (A.H.Maslow)

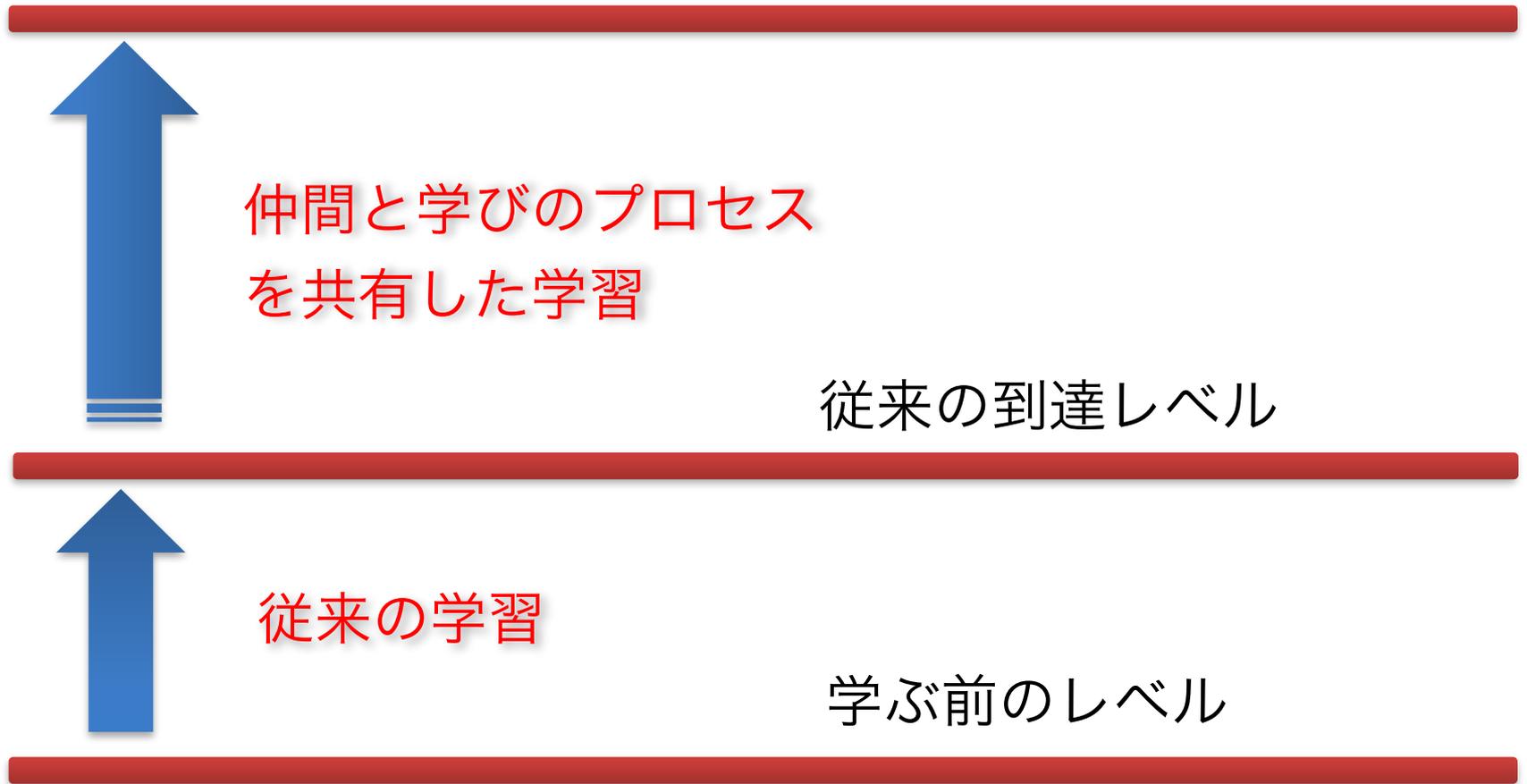
# キャリア教育を充実させる目的

①漠然と知識を積み重ねるのではなく、その知識を判断や行動に結びつけたり、それをもとに横断的、俯瞰的に物事を捉えることができる人になってほしい。

②教科の枠を越えて、「実社会の仕組みや研究に触れる」場を設け、学校で得た知識をより生かす環境を作りたい。

# 到達レベルを引き上げるために

教えあい⇒学びあいによって到達する集団のレベル



仲間と学びのプロセス  
を共有した学習

従来の到達レベル

従来の学習

学ぶ前のレベル

学年教師団の気持ちを一つに

グループワーク  
から  
チームワークへ



○中3学年部教員の教育理念

# 「確かな人間性を育む」

○中3学年部教員の行動指針

生徒が「見えにくい力」を育み、鍛練することで、

①「世界」を知り、自己の理解を深め

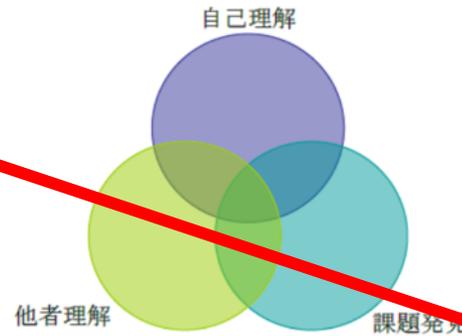
られるようにする。

②いま何をすべきかという課題を

自ら見つけられるようにする。

③他者を理解し「思い遣る」ことが

できるようにする。



## 定義

・見えにくい力（≒点数にできない、評価のしにくい力）

好奇心、探究心、学習観（なんのために勉強するのか）、謙虚さ、気力、体力、忍耐力、創造力、想像力、敬意、気品、人格、倫理などのこと

・世界

社会、諸外国、学校、教室、地域など自身の周りに広がる環境および自己の内面の精神的広がり

・思い遣る

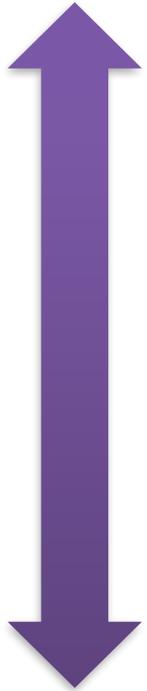
「思い遣る」の上位に「受け入れる」があり、より行動を伴う度合が大きい。

# 中学のイメージ

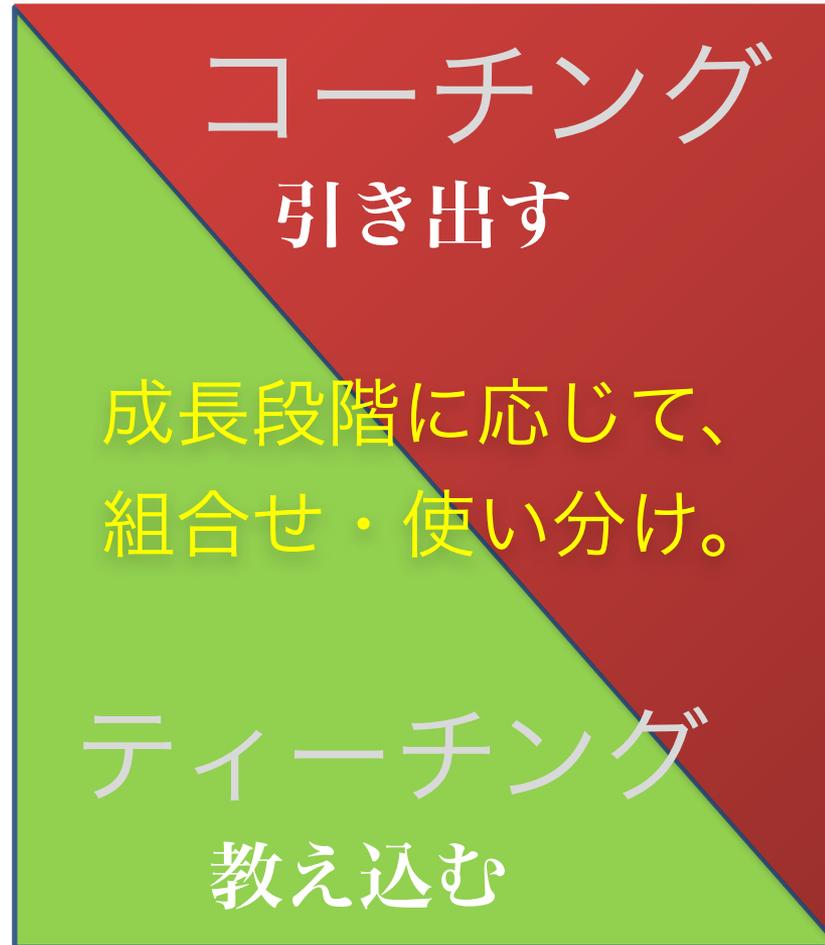


# 生徒との関わり

双方向



一方通行



# 高校のイメージ



日常がアクティブにならないといけない。  
受け身の生活ではいけない。

まずは行動を起こす。

行動が伴わなければ知識は意味を持たない。

# 非効率の追求



非効率なことをやったときに感動が生まれる

# 高校での生活

協同する場

理解や知識を整理

トレーニング

「分かる」から「できる」へ

ICT  
の  
活  
用



# 海外との交流



# 震災学習

笑顔がいっぱい咲きますように。

2014年3月25.26日

吉野山保勝会×大和ハウス  
×陸前高田さくらプロジェクト  
×洛陽工業高校×西大和学園



# 17歳のじぶん・未来・デザイン

(巻頭文より抜粋)

どうしてあなたは勉強をするのでしょうか？

どうして大人は働くのでしょうか？

生きがいとはいったい何なのでしょうか？

この答えは人それぞれであり、自分自身で見つけるべきものでしょう。ただ、自分自身が充実感をもって生きていくために「人との関わり」を欠くことはできません。つまり人は「誰かの役に立っている（社会貢献）」と感ずることによって自己肯定感を得ることができるのです。あなたが一生懸命努力していることが、将来の誰かのためになる。あなたの能力を必要としている人のために、今を頑張っている。そう思うと頑張ろうという気持ちが湧き上がってきませんか？

「でも自分ができる社会貢献がわからないし、そもそも自分にそんな能力はない。」そんな不安を抱えていませんか。確かに、経験したことのない世界を目の前にして、現実的一步を踏み出すのだから、その不安は当たり前のことです。しかし自分が信じるものだからこそ、自分で見つけないとそれを信じることはできません。人から与えられた夢は本当の目標にはなりません。「私はこの分野で活躍したい。でも未熟だからこの学問を修める！」と、17歳になる今、決意することが大切なのです。

この「17歳のじぶん・未来・デザイン」は、今までの「人との出会い」から得られた「自分の思い」を「カタチにする（文章化）」プログラムです。あなたの力はあなただけで手に入れたものではありません。だからこそ自分の能力を社会に還元することがあなたの責任なのです。

将来、誰かのためにあなたの力を活かす。その設計図をデザインして下さい。

# 学年通信より

自分の記事作成における、要点のピックアップや割愛の仕方など、「他人に読んでいただける」記事の書き方や、自分の文章と先生の校正後を比較して学んだ文章の正しい書き方、などです。

それでもまだまだ、文章を書くとき直すべきことはたくさんありますし、期日を守れないことも（私に限らず）少なからずありました。それでも絶対完成させよう、絶対より良くしよう。その気持ちで自分も編集部の仲間も駆け抜けてきたはずです。

これまでに自分たちが作ってきた「あかり」を皆さんが最後まで読んでいただけたなら、本当に幸いです。

◎二組 氏野 柗平

去年から新聞を作ってきたが、ネタが尽きることがなく、本当に行事が多かった学年ではないかと思う。サマーキャンプ、キックオフ、合宿、クエスト、合唱コンクール、iPad 陽などなど。この行事が多いというのはもちろん娯

楽や楽しみが多いという意味ではない。僕たちは周りの環境に恵まれていたと言える。例えば自分はキックオフに参加して卒業生の言葉やインベスコの社員の方々の話を聞いて自分の視野が広がった。要は一生徒、受験生としてではなく一人間として世界を学んだ。この学んだことは世界のほんの一部のことにとすぎないかもしれないが必ず自分を含め、各々に影響を与えているし今後もそうだろう。では誰のおかげか？紛れもなく先生方だと僕は思う（ゴマをすってるわけではない！）。とある先生はこう言った「宮北先生からもっともっと多くのことを学んでほしい。現代と次代の両方を担うリーダーが目の前にいることに気づいてほしい。」僕たちは気付いているか？感謝できているか？この感謝はもはや言葉だけでは表せない、行動で示さないと。全員で受けられないと。あの時の行事が本当に良かったと胸を張って言えるように、バ

# 模試翌日の教室

模試の翌日を迎えた君たちへ

昨日は熟睡できただろうか？

自己採点の後、自分の未熟さを痛感したはず

をして、ぐちゃぐちゃと唇噛んで、手握り固し。

目に涙浮かべたのではないだろうか。

昨日、どんだけぐちゃぐちゃと思っても日が経てば

さめる。

だから、

ぐちゃぐちゃと思えば、物目から

自分で変えようと思えば、

勉強はしたければ上がる

この世には努力しても改善されないもの  
など五万とあり、だから勉強はした  
努力して成績を上げよう。

これは  
勉強  
は自分  
言開

まほろばの国で、麗しき人財を育成していきたい



ご清聴ありがとうございました。